

第15回自然観察会「ジャコウアゲハの幼虫はどうしてこんな姿」の報告

山根 一郎

6月14日(日)9:00~10:00西大寺公民館に於いて第15回自然観察会を実施しました。今回の観察会は、西大寺公民館が取り組んでいるジャコウアゲハの飼育に因んでジャコウアゲハの幼虫の観察を行いました。内容は、NACS-J フィールドガイドシリーズ①自然観察ハンドブック 平凡社を参考にして観察会を組み立てました。

参考にした観点は、P24から

③ 描いてよく見る

景観をよる手段として有効なのは、スケッチブックである。……各ことによって見えてくるものがあるはずである。美術のスケッチではないから上手でなくてもよい。自分がよく見るために描いているのだとわりきってスケッチを習慣にしよう。描いている対象よりも、スケッチそのものが大事にならないように気をつける。……

④ 話し合っってわかっていく

観察しながら気づいたことを話し合うことは、観察力をみがき内容を深めるために有効である。……かつて人間はきびしい自然観察のなかから、自然を理解し、生きる力を身につけていったのだろうが、その原体験にも似た喜びを感じることができるにちがいない。描いてみる。近づいてさわってみる。そして、話し合っってよく分っっていく、を私は自然観察の3段階と呼んでいる。

⑤ 疑問形で見ると

個々の事物はなぜそうなっているか。なぜそこにあるのかという観点眺めることにしよう。そうすると個々の観察もたえず全体の自然の構成の中に還元していくことができる。いつも疑問形で問いかけてみよう。……

(NACS-Jフィールドガイドシリーズ①自然観察ハンドブック 平凡社

編集・監修 (財)日本自然保護協会 より)

の3点でした。まだまだ勉強中の私にとっては非常に参考になる内容でした。

この観点に基づいて自分なりの観察会ならできるのではないかと自信をもつことができました。具体的な進行は、次のように進めました。

ジャコウアゲハの幼虫観察会の進行表

2020年6月14日

山根 一郎

ねらい

- ジャコウアゲハの幼虫を詳しく観察するために、スケッチをして、気付いたことを話し合う。
- そのことにより、観察力（ジャコウアゲハの幼虫の特徴に気づく）をみがき、内容（ジャコウアゲハの捕食者から身を守る工夫）を深める。

進行内容

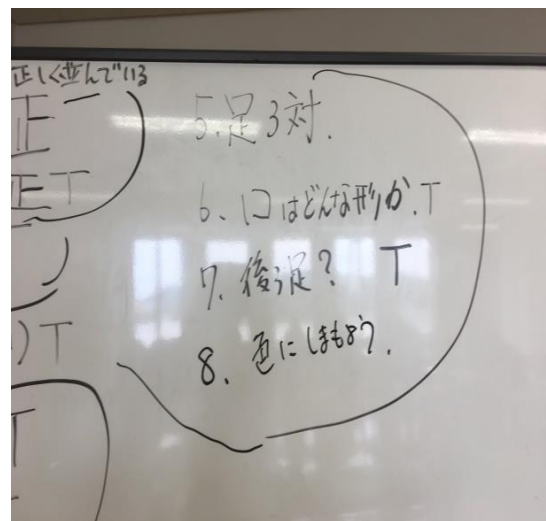
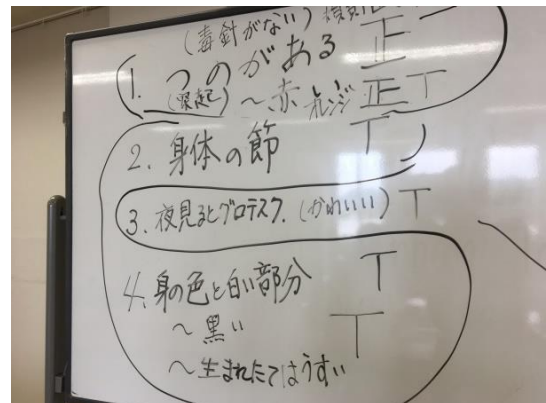
項目	内 容	備 考
1	○ジャコウアゲハの幼虫をスケッチする。 ・時間は10分間であること ・他の人と違う書き方でなくてもよい ・全部書かなくてもよいことを伝える	<ul style="list-style-type: none"> • ジャコウアゲハの幼虫をよく見るために描くことを伝える。 • 「上手でなくてもよい」ことを伝える • 「自分がここと思う部分だけ書いても」よいことを伝える • 時間がきたら、「絵」を見せながら自分が気付いたことを発表することを伝える • 保護者や支援者の言葉かけは、「すごいところを観察（見て）しているね」等にする。 • 「〇〇を書きましょう」とか。「〇〇をよく見て書きましょう」などの助言はしない。その人の気づきを重視する。 • 「綺麗に描きましょう」は禁句
2	○自分の描いた図を見せながら自分が観察（見た）部分を1つ発表する（10分） ホワイトボードにまとめる	<ul style="list-style-type: none"> • 発表の仕方は、 「私は〇〇を観察しました。」 • 他の人と同じでも「自分の言葉で発表すれば自分の観察であるので自信をもって発表するように伝える。
3	○発表があったことについて話し合う。（30分） 視点は「なぜそんな〇〇なんだろう」「生存していくためにどんなことに役立っているのだろう」	<ul style="list-style-type: none"> • 自分が思いついたことを発表する。 例①「私も同じところを観察しました。」 ②「〇〇することで〇〇に役立っているんじゃないかな」
4	○感想用紙に記入する（5分） （時間不足で実際は割愛）	<ul style="list-style-type: none"> • 感想文を記入する 例「自分と同じところに気が付いている人が多かった」 「人が気が付いていないことを見つけた人がいた」 等

観察会の実際



- 手持ちのジャコウアゲハの幼虫は蛹になってしまったので予備にとっておいた写真で絵をかいてもらいました。
- 全体を描かずに自分が気が付いたところを重点的にかいてもらうようにしました。
- 観察のために絵を描くので上手に描こうとしないでと強調したので比較的描きやすかったと思います。

- 出た意見は、ホワイトボードに表示して、整理しました。
- 意見が多かった項目について話し合いました。
- 話し合いの項目は
 - ①「つの」があることについて
 - つのの先は赤やオレンジもある
 - 列に並んでいる
 - 毒針ではなさそう
 - ②「身体の色、身体の部分」について
 - 白と黒の部分がある
 - 生まれたては色が薄い
 - 身体に節がある。
 - ③その他の特徴
 - 口はどんな形
 - 後ろ足は？
 - 5足3対である
 - 夜みると怖いのでは
- 以上の3点で色々意見交換をしました。



振り返り

- ① 「どうしてそんな姿かに正解はないので発言し易かった」と一般参加者からの感想があったことから、話し合いは正解が無いほうが自由に発言することができ、盛り上がりを感じました。
- ② 結果的に写真を見て描くことになったが動かないので描きやすかったと感じた。ただ必ずしも自分が書きたい部分でない可能性があるので自分で撮影して描く方法もあると感じました。

自然観察会には、会員の石川さんのご一家（ご夫婦と幼稚園に通う娘さん2人）も参加してくださいました。お父さんの石川和人さんから、娘さんの感想を交えて、当日描いた絵の写真を送ってくれました（西本）。

以下、石川さんからの報告です。

幼虫の写真だけであれだけの楽しい会ができるとはとても驚きでした。

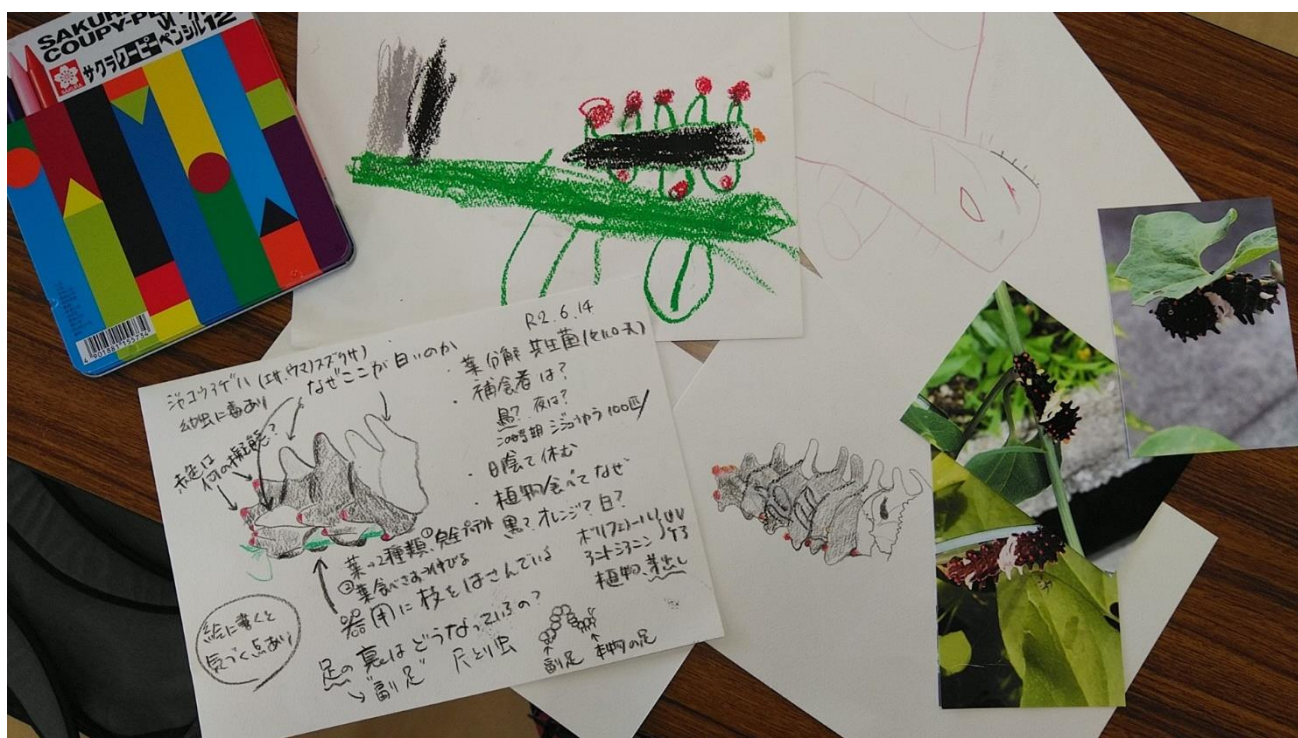
娘（日南子）の感想を報告します。

「赤と黒色の色の組み合わせがとても素敵だったので（強調して）書きました。

楽しかったです」

とのことでした。

本人が机に座って絵を描いていたのはわすかでしたが、本人なりにポイントをつかんで絵を描いていたんですね。



参加者 石川和人・大森繁・大森隆志・勝部晴美・永富壽・西本孝・橋本智明・福元隆三・藤本巨・山根一郎（10名）